

消費・安全対策交付金

【1, 810（1, 789）百万円】

対策のポイント

地方の自主性の下、国産農畜水産物の安全性の向上、家畜の伝染性疾病や病害虫の発生予防・まん延防止等を支援します。

<背景／課題>

- ・安全な食料を将来にわたって安定的に供給するため、食料供給の各段階を通じて、科学的知見に基づくリスク管理措置等の適切な取組を進める必要があります。
- ・地域の農林水産業や食品流通等の実態に応じ、機動的かつ総合的にリスク管理措置等の適切な取組を実施していくことが大切です。

政策目標

- 国産農畜水産物の安全性を向上させるため、特定の有害化学物質・有害微生物の摂取量が許容範囲を超えないよう抑制
- 家畜・養殖水産物の伝染病や農作物の病害虫の発生予防・まん延防止
- 入出荷記録の作成・保存による食品トレーサビリティの促進

<主な内容>

次の各分野について、都道府県等が地域の実態を踏まえて具体的な目標を設定し、その目標を達成するために必要な事業を実施することに対し支援します。

- (1) 国産農畜水産物の安全性の向上
- (2) 鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病やジャガイモシロシストセンチュウ、ミカンコミバエ等の病害虫の発生予防・まん延防止
- (3) 食品トレーサビリティの普及促進

〔 交付率：10／10、9／10以内、1／2以内、1／3以内 〕

事業実施主体：都道府県、市町村、農業者団体等

[お問い合わせ先：消費・安全局総務課 (03-3591-4830)]

消費・安全対策交付金

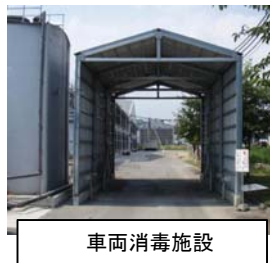
【平成28年度予算 1,810(1,789)百万円】

- 近隣諸国において鳥インフルエンザ、口蹄疫等が継続的に発生。鳥インフルエンザ等の家畜伝染性疾病への適切な対応(消毒、危機管理体制の構築、農場バイオセキュリティの向上等)を支援
- ジャガイモシロシストセンチュウ、ミカンコミバエ等の発生予防・まん延防止を支援
- 科学的知見に基づく農畜水産物の適切なリスク管理の取組による農畜産物の安全性向上等を推進

I 伝染性疾病・病虫害の発生予防・まん延防止

1. 鳥インフルエンザ等家畜の伝染性疾病への対応

- ①養鶏主産地域にある野鳥の飛来地周辺における緊急消毒の実施、地域における車両消毒施設の整備



車両消毒施設

- ②鳥インフルエンザ等の発生に備えた防疫演習の実施、病性鑑定ネットワーク体制の構築等の監視・危機管理体制の整備

- ③防鳥ネットの導入等による農場におけるバイオセキュリティの向上



防鳥ネットの設置

- ④家畜保健衛生所における病性鑑定施設の整備(ハード)等

2. ミカンコミバエ等病虫害の発生予防・まん延防止

(1)重要病虫害の特別防除

- ①ミカンコミバエ、火傷病菌等の侵入警戒調査
- ②ミカンコミバエ、プラムポックスウイルス(PPV)の緊急防除
- ③ジャガイモシロシストセンチュウ、アリモドキゾウムシ、カンキツグリーニング病菌等の病虫害のまん延防止又は根絶を図るための取組等



ミカンコミバエ



セイヨウスモモの果実におけるPPVの病徴

(2)輸出検疫条件の確立

輸出解禁協議等に必要の病虫害発生状況調査・防除等

II 農畜水産物の安全性の向上

- ・有害化学物質及び有害微生物等のリスク管理措置の地域実態に即した有効性検証、農薬の適正使用等の総合的な推進、畜水産物の安全の確保のための調査分析・機器整備・体制整備等